[広報] 鮫川村広報紙

さめがわ

8

2005 No. 616

平成17年８月１日発行

特集

資源を活かして元気なむらに



■行政情報
新しい農業委員が決まりました ほか

■ほっとニュース
第60回健康づくり夏季球技大会
村防犯協会が防犯ブザーを贈呈 ほか

[表紙写真]
プールで元気に遊ぶ子どもたち（７月27日）

特集

資源を活かして元気なむらに



小林秋男さん夫妻（赤坂東野字葉貫）も豆で達者な村づくりに参加しています。昨年は大豆とじゅうねんを作ったものの、天候の影響で大豆はだめになってしまったとか。「じゅうねんは商工会に買ってもらってよかったよ。」と振り返る秋男さん。
「今年もじゅうねんをいっぱいとってみたいね。」と二人はにこやかに話してくれました。
（秋男さんのじゅうねん畑にて）

地域の資源を活かして元気な村づくり

平成十五年七月に自立の道を選択してから二年が過ぎ、村ではこれまで行ってきた事務事業の見直しや、行財政改革などに着手し、効率的な行政の運営に努めてきました。

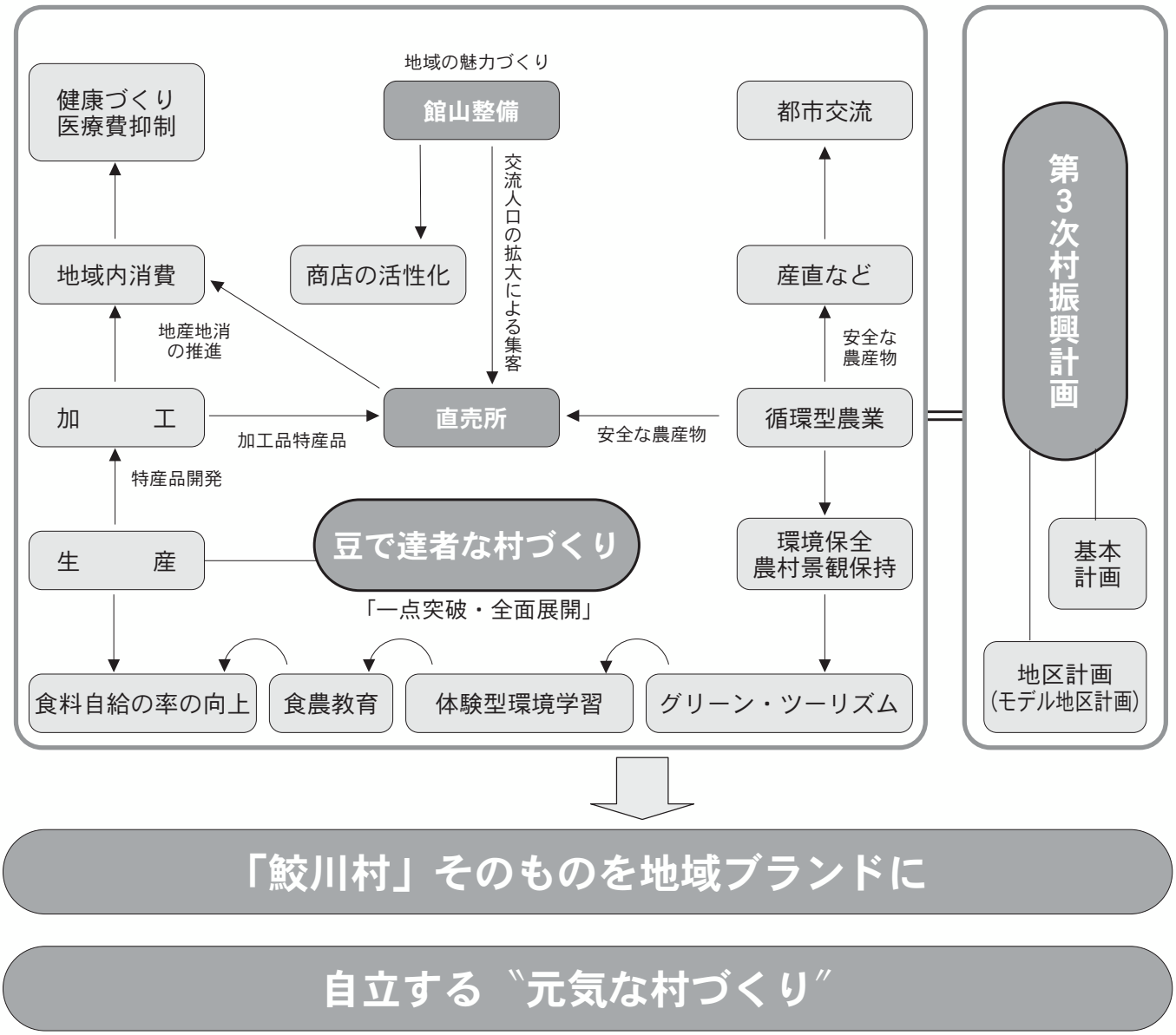
昨年からは農業の振興や特産品開発、健康づくりなどを柱とした「豆で達者な村づくり」がはじまり、二年目を迎えた今年は直売所の設置など新たな展開を迎えています。

一方で、村の今後十年間の基本的な方向を定める「第三次鮫川村振興計画」策定のため、住民や村職員、村議会議員などで構成する四つの策定委員会を設置。昨年九月から検討を重ね、今年の三月には基本構想が議決されています。

また、村の人口が減り続ける中、商店や中心市街地の活性化につなげ、賑わいを取り戻そうと「館山」周辺の整備に向けての準備も始まっています。

今月は、自立に向けた村の動きを紹介します。

■村づくり体系図



生産から加工・販売までを一体的に

● 豆で達者な村づくり

昨年収穫した大豆は「きな粉」「味噌」「豆腐」に

昨年栽培した大豆は、収穫時期の長雨の影響で「紫斑病」に侵されてしまった豆や、品質が落ちてしまう豆が数多くありましたが、次年度生産の意欲につなげようと、生産奨励金（一袋「二五キロ」あたり三千円）を交付して七・六トンを買い上げました（二二八万三千円）。その豆の中から良質の豆を選別し、はじめに製品化したのが「きな粉」です。

「きな粉」は、従来のものと比べて香りがよく、お湯に溶かして飲めるように細かい粉にしたのが特徴です。一五〇グラムと三〇〇グラムを用意し、これまでに一〇一万円を売り上げています。

また、鮫川小学校隣の旧給食センターを改修した特産品加工施設（加工所）では、「味噌」の仕込みを試験的に始めています。加工所は、古くなった天井や床などを修繕し、味噌加工のための製麹機（麹を作る機械）や蒸煮缶（大豆や米を蒸す機械）が設置され、これまでに約一・七トンの味噌が仕込まれています。

「豆腐」は、今年十月にオープン予定の直売所内に、豆腐加工のための器具などを配置し、製造される予定となっています。

じゅうねん（エゴマ）はタレと油に加工

昨年栽培されたじゅうねん（エゴマ）は、商工会が買い上げ「じゅうねん油」の原料として利用しています。「じゅうねん油」は、村特産品開発事業組合（関根政雄組合長）が中心となり「じゅうねんのタレ」に続き商品化したもので、旧富田小学校に設置した搾油機で製造しています。



今年は142人が豆づくりに参加

農作業を通じてお年寄りの「生きがい・健康づくり」と、収穫した大豆・じゅうねんを食べて「長寿」を目指そうと始まった「豆で達者な村づくり事業」も今年で二年目を迎えます。

昨年は一〇一人が作付けし、作付面積は五・八ヘクタールでした。今年は昨年より四・七三ヘクタール増の一〇・五三ヘクタールが作付けされ、一四二人のお年寄りが大豆づくりに参加しています。現在予想される収穫量は十九・八トンとなり、自家消費を除いて十四トン程度を買い付け、味噌（三トン）、豆腐（九トン）、きな粉（二トン）に加工・販売する予定です。

また、じゅうねん（エゴマ）は、八〇名の方が栽培に参加しており、四・六二ヘクタールのじゅ





7月21日に行われた栽培者研修会から

ねん畑が広がっています。収穫されたじゅうねんは、今年も村商工会が買い受け、タレや油に加工される予定です。

豆づくりを生きがいに

七月二十一日と二十五日には、大豆・じゅうねん栽培者を対象に「さぎり荘」で大豆・じゅうねん栽培者研修会を開催しました。

研修会では、大樂村長が「豆で達者な村づくり二年目の挑戦」と題し、今年度の村づくりの内容などを説明しました。続いて、福島県県南農林事務所農業普及部の五十嵐副主査が大豆とじゅうねんの栽培技術を指導。昨年の経験を踏まえた作物の管理方法などをアドバイスしました。また、村住民福祉課村山通子保健師が、日ごろの農作業の疲れをとるための体操やレクリエーションを行い、参加者たちは、楽しみながら体を動かしていました。

旧幼稚園を直売所に

豆で達者な村づくりで開発した特産品（きな粉や味噌、豆腐など）は、地域でとれた新鮮な農産物（野菜、果樹、花き、山菜など）や工芸品などと一緒に、現在、旧幼稚園舎に整備を進めている直売所で販売することになります。

（6ページにつづく）

みんなで楽しく作っているよ

大豆・じゅうねん栽培者研修会に参加したみなさん

「昨年とはまた違った天候だけど、大豆は今のところ順調に育っているよ。」

「去年から村をあげて大豆とじゅうねんづくりをしていますが、自分ひとりで作るのとでは、張り合いが全然違うねえ。」

「そうだねえ、みんなで作って話の種にもなるしね。」

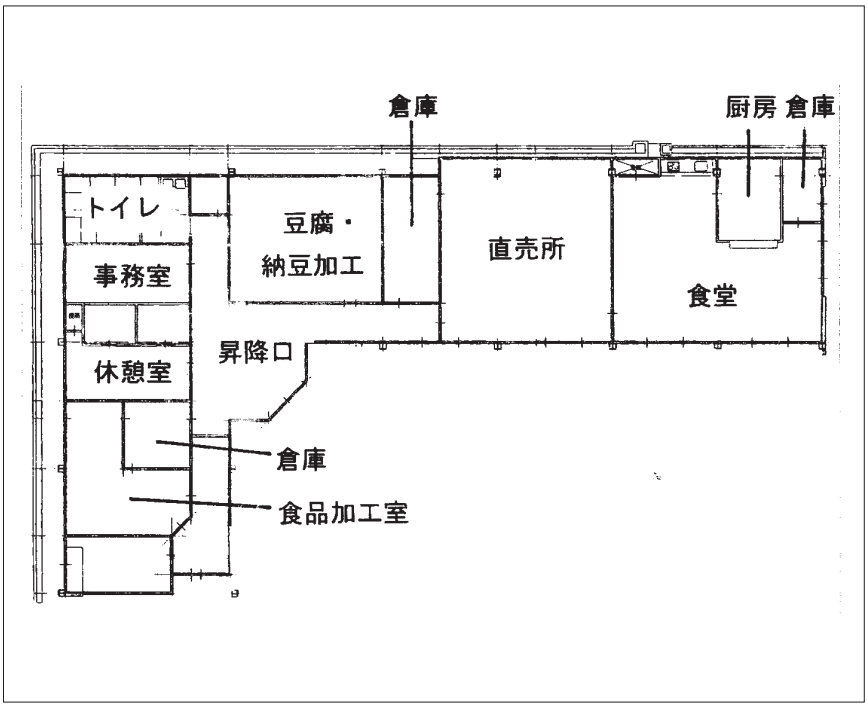
「去年の収穫のとき、最初は手でやることになっていたけど、村が買った機械であっという間に作業が終ったから、これならいくらでも豆を作れると思ったよ。とても助かったね。」

「みんなで作ると張り合いも違うし、こういった研修会にも参加できるから、豆づくりはとても楽しいよ。」



左から森芳子さん（楢久保）、芳賀貞子さん（江竜田）、森田タツさん（青生野）、山形孝子さん（中山）、木之内フクさん（下）、芳賀タケさん（中山）、芳賀美生子さん（江竜田）

■直売所平面図（計画案）



加工施設・食堂を併せて整備

直売所には農産物などを販売する直売スペースのほか、豆腐や納豆を加工・製造するスペース、食堂などを併せて設置します。直売所で扱う農産物については、地産地消を推進するために、学校給食センターやほっとはうす・さめがわ、こどもセンターなどの施設で積極的に使用していく予定です。

運営方法は準備委員会で検討

これまで直売所に出荷を希望している農家代表の会（直売所世話人会）や村振興公社準備室などで運営方法などについて検討を重ね、運営組織の母体として運営協議会準備委員会が設立されました。

準備委員は、生産者各部会（農産物部会・加工部会・工芸品部会）代表と、ＪＡ東西しらかわ鮫川支店、村商工会、たんぽぽの家で構成され、十月のオープンに向けて、運営方法や規程などを協議しています。

さらに、平成十八年度には運営体制を振興公社へ移行するため、設立準備もあわせて行われています。

試験販売会を実施

今月十二日には、直売所運営の参考にするため、これまでに営業許可を取得した加工品や農産物を試験的に販売する予定です。


直売所に改築予定の旧幼稚園舎

誰でも気軽に寄れる施設に

生産者部会工芸品部会
代表　**緑川末治**さん

直売所は誰でも気軽に寄れるような施設になればいいね。並べられる品は、鮫川に来なくては買えないようなものを揃えて、よその直売所に負けないような特色のある直売所にする必要があると思うよ。

軌道に乗るまでが大変だけど、工芸品や野菜に限らずどんなものでも誠心誠意で作ったものを置いて、計画的な運営をすればいいと思うよ。学校の給食にも鮫川産の野菜をどんどん使ってもらいたいね。



村の中心の活性化とみんなの「憩いの場」を

● 館山公園整備事業

活気が失われつつある村の中心部

村の中心市街地である「新宿・道少田地域」は、年々活気が失われ、このままでいくと空き家の増加や、商店が減少してしまうなど深刻な状況にあります。

一方、村の中心部に位置する館山公園は、平成二年に人と森林のふれあいの場「緑地休養施設」として整備されていますが、樹木の成長などにより、その魅力を十分に生かしきれていないのが現状です。

また、昨年七月に実施した第三次村振興計画策定のための行政区懇談会では、館山公園整備についての要望が数多く出され、館山を生かして村中心部の活性化に一役買ってほしいとの期待が寄せられています。





館山公園整備構想説明会（7月14日）

館山公園の整備を村づくりの「シンボル」に

そのような状況から、村では、「館山」を村民が希望を持って住み続けられるための「希望のシンボル」として位置づけ、村民が愛着を持ち村外からもたくさんの人が訪れるような魅力ある公園に整備することとしました。

整備の実現に向けて、まずは館山周辺の位置関係や、現況などを調査する必要があります。そこで村では、基本的な構想（検討のためのたたき台）の作成を、長年交流のある東京農業大学短期大学部環境緑地学科の入江彰昭講師に依頼し、先月十四日には、赤坂中野区民を対象に基本的な構想（案）の説明会を村公民館で行いました。

また、館山公園が位置している土地は、すべて私有地となっているため、整備に当っては地権者の協力が必要となります。そこで、村と地権者のパイプ役として、地権者の会（会長・鈴木一良さん）が設立されています。

館山の可能性は

約一五ヘクタールの面積がある館山は村の中心部に位置するため、遊歩道などを整備することにより公共施設や商店街との連携がとりやすくなってきます。

また、里山づくりや農作業の支援など、都市住民との交流の場を設けた公園の整備をすすめることで、村の美しい環境の保全や移住の機会を増やすことにつながることが期待されます。



館山公園頂上部

これからの村づくりの方向は

● 第３次鮫川村振興計画

今後10年間の村の将来像を描く「振興計画」

村では、第三次村振興計画（平成十七年度～二十六年度）の基本計画を策定中です。

計画の策定にあたっては、昨年七月に行った各行政区懇談会で出された提言をもとに、住民と行政の協働と住民参画を重視し、四つの計画策定委員会（地域資源活用委員会、農村景観活用委員会、生活安心委員会、人づくり地域産業委員会）を設置しました。

委員会では、基本構想（今後十年間、村が推進すべき基本的な方向、村づくりの基本方針を示すもの）と基本計画（基本構想の実現のために必要な施策の方向を体系的に示すもの）を昨年九月から協議し、今年の三月には、基本構想が村議会臨時会で可決されています。現在は、より具体的な基本計画の審議が進められており、委員会ごとにまとめられる予定となっています。

地域が元気になれば村全体の活性化に

今回の振興計画にあたり、もう一つの柱として地区計画の策定も同時に進められています。

地区計画は、地域の特性を活かした、集落や地域を単位とするモデル地区計画で、住民自らが地域づくりを進めるための目標を定めます。そのことにより集落が元気になり村の自立と活性化につながることが期待されます。昨年八月にモデル地区を募集したところ、これまでに十の地区（集落）から応募があり、地域の魅力を活かすアイディアが寄せられています。

七月下旬からは、応募のあった各地区に村職員三名で構成するサポートチームを派遣し、集落の現状や課題、構想などを話し合い、地区計画の策定を支援する取り組みも始まっています。今後もモデル地区については随時募集し、振興計画の地区計画に追加していく予定です。



子どもたちの未来のために



約１年間、振興計画基本構想・計画策定のために参加した住民委員の皆さんに感想を聞きました。

・藤田セツ子さん（関口）
　思っていた以上に難問が多かったと思います。地域の集まりなどで若い人と会うと、意見や考えを聞くようにしているので、この委員会でももっと若い人がいればよかったと思います。

・本郷美智子さん（落合）
　普段考えないような深い部分まで考えないといけないので大変でした。形にするためにはいろいろな話を出すこと、自分の意見をきちんと言うことが大切だと思いました。こういうのに参加しなければ、村の将来も考えなかったと思います。

・矢吹弘さん（仁田）
　参加してみて面白かったです。もう少し若い世代の声もあればよかったのではないのでしょうか。自分たちの代と20代では、10年後20年後の考えも違かったと思います。

・青戸広行さん（彦次郎）
　１年間参加してみてようやく議論できるだけの知識が身につきました。やってよかったです。

・須藤かつ子さん（滝）
　村のことであまり知らないこともありましたが、参加してみて自分にとってよかったと思います。とても勉強になりました。

・須藤重晴さん（遠ケ竜）
　村のことをいろいろ知ることができ、大変勉強になりました。



各モデル地区で始まった計画づくり（集落に空き家をつくらないためにはどうしたらいいかなどの意見が出されました／中沢地区）

これまでに申し込みのあったモデル地区計画の主な内容

①彦次郎元気づくりモデル地区（青戸孝夫さんほか八名）
集落のシンボル菅生館周辺に花木類を植栽し、景観を整備する。休耕地を活用して大豆・じゅうねんの栽培を拡大する。

②中沢元気づくりモデル地区（円谷次男さんほか一六名）
古くから伝わる数多くの祭典を継承した地域づくり。また、綿羊（山羊）などの飼育により中山間地域の環境を整備し、荒地を減らす。

③岩野草元気づくりモデル地区（坂本忠雄さんほか一六名）
直売所や薪を使った風呂などを集落に整備する。

④鬼越辺栗元気づくりモデル地区（生田目一広さんほか七名）
集落全体を花・桜の公園にし、県南の桃源郷づくりを目指す。直売所も整備する。

⑤落合元気づくりモデル地区（本郷公市さんほか一三名）
微生物利用有機無農薬の米や野菜を生産し、集落で民宿やレストランなどを経営する。

⑥渡瀬元気づくりモデル地区（大森茂さんほか二名）
江竜田の滝から大戸中橋までの遊歩道を整備し、果樹園・直売所との連携を図る。

⑦荻ノ沢塩倉元気づくりモデル地区（関根成男さんほか九名）
桜と柿の里づくりを展開。柿の木里親制度の導入や出荷につなげる。

⑧真坂元気づくりモデル地区（緑川好之さんほか二〇名）
真坂農村公園を核とした里づくり。

⑨石井草元気づくりモデル地区（予定）
一等三角点を活用した集落づくり。

⑩大犬平元気づくりモデル地区（予定）
森林を活用した体験学習の森をつくる。

特色ある村づくりのためには

村づくり事業に取り組むために大切なものとは何か。
村振興計画策定のアドバイザーを務める福島大学行政社会学部
兼田教授に村づくりについてのお話を聞きました。

ゆとりある暮らしを大切にする

――まずは、現在の社会情勢や時代の流れの基本認識についてお聞かせください。

「スローライフ」という言葉があるように、大量生産・大量消費・大量廃棄によるものの豊かさを追求する暮らし方ではなく、ちょっと不便でも環境資源、食料などを考え、ゆとりある暮らしを大切にするというのが時代の流れだと思います。

キーワードは発想の転換

――そういった部分を踏まえて、地域づくりの現状や課題、あるいは地域づくりをやっていくなかで大切なことなどについてお聞かせください。

まず、戦後の日本が進めてきた農林漁業の方法では、もう日本の農業は数年先まで持たないという危機感を持つべきだと思います。その危機感はもちろん農林漁業の生産者も感じていますが、打開の方法についてはほとんど見通しを持っていないという風に思います。このままだと生産者も食べていけなくなり、やめざる得なくなって、上向きにならずにいってしまうだろうととらえている層がどんどん増えていると思います。

その流れに対抗するやり方は三つあって、一つはなんとか今のやり方のままで、政策的な時代の流れに抵抗しながら現状を維持するやり方ですが、決して間違いではないと思います。

二つ目は、発想の転換をした農林漁業や農山村のあり方です。大筋で言うと少子高齢化や過疎化は特徴ある地域づくりのチャンスととらえ、多くの人に共感される魅力ある地域づくりで交流を増やすことと、村にあるものを生かし地域の経済を元気にすることです。今の農林漁業の状況になったのは、農政の進め方が悪かったのであって、それに従ってやってきた人たちが「大変だ」とばかり言うんですね。熱塩加納村で集会をやったときは、直売所と学校給食の問題で話し合ったのですが、議論になるとだいたいの男性は、女性がやっている直売所に「儲かるはずがない」と批判はするけど、ほかには何もアイディアが出てこないという状況でした。



福島大学行政社会学部 **兼田繁** 教授

●かねた・しげる
1948年生まれ。立命館大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。社会学修士。福島大学経済学部助教授、福島大学行政社会学部助教授を経て1993年より現職。専門分野は地域社会学。

また、秋田県で一番売り上げがある直売所でさえ、それだけで農家がやっていける額ではないし、儲かるか儲からないかという発想で議論しても発想の転換ができていないんですね。しかし、実際は直売所が注目され、ブームになっている。これは、消費者の後押しがあるということなんですね。

相手に喜んでもらうためにまごころで

発想の転換の原点・出発点は、実はすごく素朴なことで「もったいない」ということなんですね。例えば曲がったきゅうりでも、真っ直ぐではないから出荷できず捨てなくてはいけない。しかし、そういうものも役に立つ「資源」になるはずで、本当は喜ばれるものなんです。

大切なことは喜んでもらうことです。よく自由化に対抗する言葉で「付加価値」という言い回しをつかっていますが、安全なものを作れば都市の消費者はぜったい喜んでくれるんです。これまでは、儲けて暮らしを成り立たせることが当然のことでしたが、それだけでは行き詰ってきたわけです。しかし「付加価値」をつけ、喜ばれるための方法を従来のやり方だとつかめない。

熱塩加納の有機野菜は「まごころ野菜」といって学校給食に安心・安全な野菜を提供していますが、付加価値のとどのつまりは相手に喜ばれる「まごころ」なんですね。そのまごころを持って作れば消費者には伝わるんです。

女性や若者を生かすことが重要です

また、発想の転換をするためには、新しい担い手が必要です。女性や何かやってみたいと思っている若い世代の力を借りることが大切です。

福島では残念ながらあまり事例がないと思いますが、星空で売り出している岡山県のある町では、五十代から三十代のいわゆる後継者の人が直売所を始めたんですね。彼らは、まだ後継者だったんですが、地域を仕切っている自分たちの上の世代からいろいろな経過もあり「やってみろ」とまかされて直売所をやることになったわけで、いざやってみると中国地方最大の売り上げを出すようになったんですね。行政の後押しなんかもあったみたいですが、加工所をつくったりと事業が膨らんでいった例もあります。

数十年前に隣の古殿町で振興計画を作ったときも、なぜ農業の後継者に嫁が来ないとか子どもたちが出て行って過疎になるとかという話にもなったんですね。でも、嘆いている割にはどんどん高校から都会の大学に進学させたりしているんですね。これはちょっと古い考えではないですかね。

発想の転換をするには嘆いてばかりいないで、若い世代や女性の考えの芽を摘むことをせず 儲からないからやめろではなく、まあやってみろ」と任せてみることが大切ではないでしょうか。

三つ目は、地域を見直すことです。可能性のあるどんな小さな芽もつぶさないことが大切です。鮫川村の振興計画は、そのようなところから始まっています。



地域づくりは発想を展開し、地域を見直していくことが大切

自主的な地域づくりの雰囲気が鮫川村にはあります

余談ですが、合併問題で自立を選択した市町村でも、単独を選ばざるを得なかった市町村など温度差がある中で、鮫川村は住民投票で住民が自立を選択しているので、私たちから見れば「地域づくりは自分たちで」という考えが段違いにあるんですね。行政だけじゃなく自分でできることは自分でという雰囲気を振興計画で伸ばしていくということが大切だと思います。

鮫川村は地図を見ればわかることですが、集落が分散していて、その集落ごとに長い歴史があるんです。だから、振興計画を作るうえでも、行政がくくった区域で考えてもただの作文にしかならないんですね。そこで集落ごとに計画を作ることが必要になってきます。鬼越でも荻ノ沢でも、中沢でも、いろんなところから出てきたアイディアを他の集落も盗みながら、みんながやることを地区計画に盛り込むことが大切ですね。この方法は、「鮫川方式」といってもいいようないいアイディアだと思います。

地域づくりには、どんな小さいことでもいいので、みんなでできることを探し出すこと、都市と農村の連携を大切にしていくことが大事ですね。

お忙しい中ありがとうございました。（七月二十八日・役場会議室で）

1 新しい農業委員が決まりました

任期満了に伴う鮫川村農業委員一般選挙は、七月五日に告示され、定数九人に対し立候補者九人のため無投票となりました。また、選挙による九人のほかに、議会推薦一人、農業協同組合推薦一人、農業共済組合推薦一人、土地改良区推薦一人がそれぞれ選出され、村長から選任辞令が交付されました。任期は平成二十年七月九日までの三年間です。

改選後の初総会は七月二十二日、役場議場で開かれ、会長に矢吹勝美さん、会長職務代理者に芳賀登さんが選任されました。

新しい委員の皆さんを紹介します。（敬称略）

（①住所／②選出区分／③担当区域）

■問い合わせ　村農業委員会事務局☎４９-３１９７

■会長



矢吹　勝美（56歳）

①富田字中沢／②選挙／③富田全域

■会長職務代理者



芳賀　登（55歳）

①渡瀬字田苗下／②選挙／③中山・福原・田苗下・田尻・関口・越虫



長井　太一（58歳）

①渡瀬字青生野／②選任（土地改良区）／③丸谷地・西谷地・世々麦・姿平



白石　政敏（60歳）

①渡瀬字青生野／②選挙／③羽双・大犬平・江堀・青生野



鈴木　寛重（61歳）

①西山字馬場／②選挙／③赤坂中野全域



関根　功男（66歳）

①西山字余所内／②選任（共済組合）／③大沢・余所内・大平・追木



阿久津栄二（57歳）

①赤坂西野字滑石／②選挙／③仁田・滑石・上・中・西・浅屋敷・前折戸・塩倉・荻ノ沢・岫長・虹ヶ沢・滝

農業委員会は、村の執行機関として設置されている行政委員会で、農業者によって選ばれた方々を中心に構成し、運営される組織です。

農業委員会委員は「農業者の代表」として、活力ある村づくりのために幅広い活動を展開します。

▼農業委員の役割

①農地と農家の実情・意向の把握

担当した地域の農地の利用・権利関係の現状や農家の実情を把握し、農地に関連する許認可業務（審査）と認定農業者の支援を行います。

②農家相談

農家の世話役として農業委員会での解決が困難な問題の場合は村やＪＡ、県などとの橋渡し役となります。

③農地の監視

農地パトロールなどにより不適正な農地の権利取得や産業廃棄物の不法投棄、無断転用などに対する監視活動を行います。

④農地の利用・権利関係の調整・あっせん

農地を売りたい・貸したい農家と買いたい・借りたい農家との間に入って調整・あっせんします。

⑤担い手への農地集積と経営改善支援

地域農業の担い手育成に向け、認定農業者などの意向を汲み取り、経営改善の取り組みを手伝います。

⑥地域農業の方向づけとビジョンづくり

将来の地域農業のあり方やビジョンについて、地域で話し合い、合意づくりをすすめます。

▶児童扶養手当

児童扶養手当は、父と生計を同じくしていない児童が育てられている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母や母に代わってその児童を養育している人に支給されます。父と生計を同じくしていても、父の心身に一定の障害がある場合には支給されます。

■**受給資格**　次のいずれかに該当する18歳未満（心身に一定の障害があるときは20歳未満）の児童を監護している母または母に代わってその児童を養育している人。

①父母が離婚した後、父と生計を同じくしていない児童 ②父が死亡した児童 ③父が一定の障害の状態にある児童 ④父の生死が明らかでない児童 ⑤父が引き続き１年以上遺棄している児童 ⑥父が法令により引き続き１年以上拘禁されている児童 ⑦母が婚姻によらないで生まれた児童 ⑧孤児などで、父母がいるのか不明の児童

■**手当の額**

区分	全部支給	一部支給
児童１人のとき	月額 41,880円	所得に応じて月額9,880円から41,870円までの10円きざみの額
児童２人のとき	児童が１人のときの額に5,000円を加算	
児童３人以上のとき	３人目から児童１人増すごとに3,000円を加算	

■**支給制限**　受給者と同居親族の所得により全額または一部が支給停止されます。

▶特別児童扶養手当

特別児童扶養手当は、身体または精神に障害がある児童を監護または養育している人に支給されます。

■**受給資格**　身体や精神に障害がある20歳未満の児童を監護している父もしくは母、または父母に代わって児童を養育している人に支給されます。ただし、児童が肢体不自由児施設や知的障害児施設などに入所している場合や、障害を理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合は支給されません。

■**手当の額**

１級該当児童１人につき	月額50,900円
２級該当児童１人につき	月額33,900円

■**支給制限**　受給者と同居親族の所得により手当の支給が停止されます。

◎問い合わせ

村住民福祉課福祉係☎49−3113



阿久津　茂（54歳）

①西山字折戸／②選挙／③折戸・西野内・宝木・押野・岩野草



佐川　一郎（58歳）

①赤坂東野字内ケ竜／②選挙／③唐露・大石草・遠ケ竜・大根屋敷・中内・大房・楢久保・内ケ竜・官代・石井草



芳賀　元治（60歳）

①渡瀬字江竜田／②選挙／③江竜田・大戸中・下・木之根・中野町・上耕地



須藤　一（54歳）

①赤坂西野字名下／②選挙／③酒垂・名下・茅・本坂・火打石・石神・切払・草牛・蕨平



我妻　佐利（58歳）

①西山字落合／②選任（農協）／③戸倉・赤柴・菅田・菅ノ目・水口・落合・大久保



市川甲子男（64歳）

①赤坂東野字滝ノ下／②選任（議会）／③広畑・芦ノ草・滝ノ下・蕨ノ草・木戸沢・大竹・戸草・葉貫・前田

⑦農政の普及・浸透

農政の進む方向や国や県、村などの新しい施策、農業者にメリットのある事業などを農業者・地域に伝え普及・浸透させます。

⑧農業者・地域に根ざした農政活動

農業者や地域が直面している問題・課題を把握し、農政に反映させます。

⑨食農教育の推進

農業者や消費者などとの架け橋となり地産地消をすすめたり、教育委員会と連携し、地元農畜産物の学校給食での活用をすすめます。

⑩情報の提供

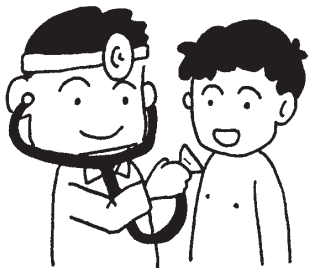
農業・農政に関する正しい情報を農業者に提供し、農業者の意見・世論を作り出していきます。

［表１］住民総合健康診査内容

健診名	内容	対象	料金
結核検診	胸部Ｘ線撮影	65歳以上の方	無料
肺がん検診（肺野部）	胸部Ｘ線撮影	40～64歳の方	500円
基本健康診査	身体計測、血圧測定、尿検査、聴打診、血液検査、眼底検査、心電図検査、医師診察	40歳以上の方	500円（70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料）
胃がん検診	胃部Ｘ線撮影		500円（国保加入者70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料）
大腸がん検診	便採取		500円（70歳以上の方および65歳以上で一定の障害がある方は無料）
Ｃ型肝炎ウイルス検診	血液検査 Ｃ型肝炎ウイルスに感染していないかを検査します。	40, 45, 50, 55, 60. 65, 70歳の方	
口腔健診	口腔パノラマレントゲン撮影、歯科衛生指導	40～70歳の方	500円
前立腺がん検診	血液検査	50歳以上（男性）	

※大腸がん検診は、精密に検査するために２日分便を採取してください。受診しない方は、健診期間中に採便容器を健診会場か役場に戻してください。

８月31日～９月９日は
住民総合健康診査です。



健診で身体の総チェック

八月三十一日（水）から九月九日（金）まで、住民総合健康診査（生活習慣病健診）を行います。最寄りの会場で受診してください。

健診の受診録は、六月に実施した健康管理世帯調査（健診希望調べ）で受診を希望した方に配布します。受診を希望しなかった方でも、受診対象年齢であれば受けることができますので、事前に役場住民福祉課健康係までご連絡ください。

健診で体の総チェックをして、自分では気付きにくい

■問い合わせ　村住民福祉課健康係 ☎49-3113

婦人検診のお知らせ

子宮がん・骨粗しょう症検診を実施します。

■**日時**　８月18日(木)

■**受付時間**　[午前]８時30分～９時
[午後]１時～１時30分

■**検診会場**　村保健センター

■**対象者**　20歳以上の女性で村内に住所がある方(昭和61年３月31日までに生まれた方)

■**受診料**

料金／年齢	子宮がん	骨粗しょう症
20～69歳	500円	500円
70歳以上	無料	無料

※１　６月に実施しました「住民健康診査受診希望調べ」で村の検診を希望した方に受診録（カルテ）を配布します。

※２「希望調べ」で、希望されなかった方でも、村に住所があり20歳以上であれば今回の検診を受診できますので、８月17日（水）までに住民福祉課健康係までご連絡ください。

※３　施設検診（病院での個別検診）はありませんので希望される方は忘れないで受診してください。

※４　検診当日は混雑が予想されますので、案内した駐車場に車を止めるようにお願いします。

［表２］住民総合健康診査日程

８月	31日(水)	青生野区／赤坂東野・石井草区のうち葉貫	ほっとはうす・さめがわ体験館
９月	１日(木)	渡瀬区(越虫を含む)	渡瀬区集落センター
	２日(金)	富田区	保健センター
	５日(月)	赤坂中野区のうち新宿・道少田／赤坂東野・石井草区のうち広畑	
	６日(火)	赤坂中野区(新宿・道少田を除く)／赤坂東野・石井草区のうち石井草・官代	
	７日(水)	赤坂東野・石井草区(広畑・石井草・官代・葉貫を除く)	
	８日(木)	西山区	西山区集落センター
	９日(金)	赤坂西野区	赤坂西野区民センター

※口腔健診は９月２日(金)、５日(月)、７日(水)の３日間実施します。
※健診送迎バスを運行しますので、詳しくは後日お送りするお知らせ「健診送迎バス時間」をご覧ください。

「不調のサイン」を読み取り、いつまでも健康で過ごしましょう。

■**内容**　[表１]のとおり

■**日程・会場**　[表２]のとおり（受付時間は、午前七時三十分～九時三十分）

※指定会場以外でも受診できます。



1 NEWS

努力でつかんだ出場権

舟木司君が自転車競技でインターハイ出場



インターハイに出場する舟木司君（中央）

インターハイ出場を決めた舟木司君（東白川農商高等学校三年・赤坂西野字石ノ花）の激励金交付式は七月二十七日、役場村長室で行われ大樂村長、奥貫教育長らから激励を受けました。

舟木君は、六月十七日から十九日に秋田県美郷町で行われた東北大会自転車競技二十四キロで見事四位に入賞し出場権を獲得。八月二日から千葉県松戸市で行われるインターハイへ出場し、上位入賞を目指します。

2 NEWS

”もしものとき“に備えて

村防犯協会が小・中学生に防犯ブザーを贈呈



防犯ブザーを受け取る各学年の児童代表（鮫川小）

村防犯協会（会長・大樂村長）の防犯ブザー贈呈式は七月十四日、各小中学校で開かれました。

防犯ブザーは、万が一犯罪に巻き込まれた場合に周りの人に知らせる身の安全を守るため、青生野小・鮫川小の全児童と鮫川中の女子生徒に贈られたものです。

このうち鮫川小では、各学年の代表児童にブザーが贈られた後、鮫川駐在所の有我警部補がブザーの使い方を説明。児童たちは真剣に耳を傾けていました。

3 NEWS

過疎地域に大切なものは？

ほっとはうすで過疎対策北海道・東北ブロック会議を開催



過疎対策について協議した北海道・東北ブロック課長等会議

平成十七年度北海道・東北ブロック過疎対策担当課長等会議は七月七日・八日の二日間、「ほっとはうす・さめがわ」で行われ、北海道・東北地区の各道県過疎対策担当者など約二十名が参加しました。

七日の会議では、国が行う過疎対策などについて説明がされたあと、過疎対策の事例や意見交換が行われました。翌日には環境学習館などを視察し、村の施策について理解を深めました。

4 NEWS

やったぞ！鮫高野球部

第51回県総体軟式野球県大会で見事勝利



南東北大会に向けて練習に励む鮫高ナイン

県総体軟式野球県大会は七月十日、いわき市のいわきグリーンスタジアムで行われました。

大会には、県立東白川農商高校鮫川分校野球部が出場。浪江高校津島分校を九対四で下し、あづま球場（福島市）で行われる南東北大会への切符を手にしました。

清水大翼主将（三年）は、「南東北大会では、ミスを失くして実力を出し切れるよう頑張りたい。まずは一勝です。」と力強く意気込みを話してくれました。

5 NEWS

地域の温もりに触れた二日間

第2回さめがわ・ふるさと体験学校



田押し車で除草にチャレンジする参加者

NPO法人ふるさと回帰支援センターが主催する「第2回さめがわ・ふるさと体験学校」は七月九日・十日の二日間、西山・落合地区で行われました。

学校は、ふるさと暮らしを希望する人たちが、地域の決まりごとや農作業の仕方などを学ぼうと年四回行われる事業で、今回は約十五名が参加。五月に植えた田の草取りや集落のお母さんの手料理を味わうなど、地域の人との交流を深めていました。

7 NEWS

29チームが熱戦を展開

第60回健康づくり夏季球技大会



熱戦が繰り広げられた夏季球技大会

第六十回健康づくり夏季球技大会は七月三日、青少年広場など四会場で行われました。

大会にはソフトボール部門に十九チーム、バレーボール部門に十チームが参加。上位入賞を目指して熱戦を展開しました。

成績は次のとおりです。

【ソフトボール】▼青年の部…①西野②西山2005③サンライズ▼壮年の部…①ザ・中野②西山球友③ひがしの南▼OBの部…①西野②青生野③戸草▼シルバーの部…①西山パワーズ

【バレーボール】▼家庭バレーボール…①青生野A②渡瀬A③青生野B▼九人制バレーボール…中野VBC②西山レディース③西野B

6 NEWS

見事な作品がズラリ

さつき・山野草展



見事な作品が会場いっぱいに並んだ「さつき・山野草展」

盆栽愛好会と山野草研究会が主催する「さつき・山野草展」は六月二十日から二十二日までの三日間、村公民館大集会室で開かれました。

会場には、会員が丹精込めて育てた色鮮やかなさつきや山野草が並び、訪れた人の心を和ませていました。

なお、さつきの部で有賀岩男さん（大房）、山野草の部で岡部康嘉さん（前沼）の作品がそれぞれ村長賞に選ばれました。

8 NEWS

午後5時になりました…

夏休みの「声」は蛭田康暉君（鮫小6年）



放送室でマイクに向かう蛭田康暉君

「児童生徒の皆さん、午後五時になりました。交通事故に気をつけて、家に帰りましょう。」

夏休み期間中の夕方五時に流れる防災無線の放送は毎年、小学生がアナウンサーを務めています。今年、夏休みの「声」を担当したのは鮫川小六年の蛭田康暉君（渡瀬字福原）です。

七月十九日、役場放送室で録音を行った康暉君は「難しかったです。」と笑顔で話してくれました。

みんなのページ

戸村　正明さん
Masaaki　TOMURA

とむら・まさあき●昭和年25年３月生まれ。富田字鍬木田在住。趣味は釣り（主にヤマメやイワナ）。村体育指導委員会長。



みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL　0247-49-3111
FAX　0247-49-2651
Eメールアドレス
soumu@vill.samegawa.fukushima.jp
総務課総務係
「広報さめがわ担当」まで

村民［随想］リレー ㊽
やり遂げる

私は、現在村体育指導員の会長を務めており、指導委員としての役目および概要を紹介致します。

村体育指導委員は区が推薦し、村教育委員会から任命され、定数は十四名で構成され、任期は二年です。職務については県体育指導委員研究大会および東白川町村体育指導委員研修会などに参加して、ニュースポーツのルールと実技を学び、村民のスポーツ活動促進のため村体育協会の事業に対して協力し、指導を行います。

現在行われているさわやか高原ロードレース、村民駅伝競走、インディアカ。特にインディアカ大会には、各地区でルールなどを学び、多くの選手たちが参加し、楽しく行われています。また、ふくしま駅伝大会には、皆様の御支援と御協力を賜り心から感謝を申し上げます。これからも指導委員が一丸となり、スポーツ活動がますます発展されますように指導と協力を続けていきます。

私は指導員を十八年間続けておりますが、題にあるように「やり遂げる」という事、与えられた仕事に興味を持ち楽しくなる事、そし趣味を持ち自分の心を癒す事が大切だと思います。

■次は、我妻邦夫さん（西山字落合）にバトンタッチ！

案　内

●海上保安大学校学生募集　受付期間…８月25日(木)～９月６日(火)　※９月６日消印有効／受験資格…昭和60年４月２日以降に生まれた者／採用予定人数…約45名／試験日…第１次試験10月29日(土)・30日(日)、第２次試験12月19日(月)／その他…郵便で申し込み用紙を請求する場合は、封筒の表に赤字で「海上請求」と書き、あて先明記の返信用封筒(角形２号・長さ33.5㌢、幅24.0㌢程度)に140円切手を貼り同封してください／詳細・問い合わせ…福島海上保安部管理課総務係　〒971-8101いわき市小名浜字辰巳町38番地☎0246-53-7112

●テクノセミナー開催　セミナーコース③「第一種電気工事士実践知識」／内容…法規、電気に関する基礎知識、配線図、配電理論、電気応用など／定員…30名／実施予定日…９月13日(火)～15日(木)／受講時間…午前９時～午後４時／受講料など…7,300円／申込期限…８月30日(火)／詳細・問い合わせ…福島県立郡山高等技術専門学校(テクノカレッジ郡山)能力開発課☎024-944-1663 FAX024-943-7985 ホームページhttp://www.tck.ac.jp/

●県民カレッジ連携講座・会津大学公開講座案内　テーマ…電子自治体のシステム構築と管理／対象…一般60名／日時…８月25日(木)午後2時～午後３時30分／会場…会津大学講義棟大講義室／講師…会津大学・林隆史教授／参加費…無料／申し込み・問い合わせ…会津大学事務局企画予算グループ☎0242-37-2510 Eメールcl-plandget@u-aizu.ac.jp

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで

さめがわ
畑楽(はたらく)協力隊だより Vol. 4

緑のふるさと協力隊・飯塚ひろみさんの鮫川村体験記です。

田押し車から学ぶ「豊かさ」

７月上旬、田押し車を使って田の草取りを体験しました。もちろん初体験で、最初は長靴をはいて田んぼに入り、田押し車を押してみるものの、足はなかなか抜けないし、泥がたまって車輪もうまく進みません。裸足になって足腰に力が入ると、余分な力も抜けて少しリズムがつかめました。ゴロンと一押しすると同時に少し手前に引いて泥を跳ね飛ばし、また一歩前に進んでゴロン。二往復しただけで、暑さもありへとへとでした。

これを昔は一日中毎日行っていたと聞き、本当に頭が下がる思いです。田押し車が発明される前は、四つん這いになって手で草を取り、もっと大変だった事が簡単に想像できます。現在は、そういった光景を目にすることは少なくなりましたが、先日の苦労は忘れてはいけないと思います。そこから今の暮らしの豊かさ、幸福さ、物のありがたみをより感じられるからです。そういう学びをこれからもしていきたいです。



田押し車での除草にチャレンジ！

広報 文芸



葉月(はづき)

俳句

郭公や奥鮫川の谿深し　金沢　暁舟
つばくらめ一日局長拝命す　中井　恒峯
夏草を食む音絶えて畜舎古る　矢部　正子
百合の花咲くべく茎の太さかな　山本　朗史
山法師お喋り響く露天風呂　斎須　信子
岩しばの植え替え急かす梅雨晴間　小山田清哲
夕立を追い越し列車ふるさとへ　山本　恵子
六月一日女子高生のさわやかに　前田　縫子
陽性の梅雨に色顕つ四ひらかな　北條素人坂
節々の痛み発熱梅雨ぐもり　黒田　寿香
梅雨寒くもと同僚の訃報来る　松本　精一
熱帯夜少年犯罪後絶たず　鈴木　米子
背伸びする孫と背くらべ山法師　小松ハルエ
雷慌てさす六月の暑さかな　山本五十鈴

短歌

この儘で推移せしなばいずれ来る老いゆく日本絶滅のとき　松本　一郎
真白な真綿のような雲の中抜けて機体は伊丹に着けり　前田喜三子
子供らに留守を頼んで名古屋まで夫と二人の初旅に出る　関根キヌ子
病む妻の足を揉みつつ己が身の行く先思えば何か淋しい　鷺野谷　満
娘より新茶が届く霜の朝夫に供えて共に戴く　田中　志乃
年毎に思考の力うすれ行く歌詠みながら思う此の頃　岡部　シゲ
支え合う結(ゆい)で賑わうあの田植え早苗振招ばれの遠き日を恋う　鈴木　クニ
旬の味筍ことこと茹であげて料理の味を夫と楽しむ　藤田千代子
村に住み七十年を夢追いて気つけば八十路と云う歳になる　赤坂　朝子
眠られぬ朝に起き出で覚めきらぬ目に写りしは山法師の花　北條　平
街に住む君訪ぬれば駅に待ち弾み駆け寄りし頃の懐かし　叭
佳作をと希いどついに生(あ)れずして窓に遊べり小雀(こがら)と今日は　蛭田　光江
故郷で歌った過去の草刈歌　忘れまいとすわが金字塔　坂本　雪絵
大人(たいじん)先生と呼ばるも一夜にて着のみ着の儘となる八十五日　蛭田　浩市
嫁の頃農も出来ず隣家の娘さんに教えられたる日が忘れ得ず　根本　恵智
われの述ぶ徳行一つ古いとし受け得ざる人の多くを知るも　前田　初
共に語り助け合いたる兄も逝きわれは一人の侘びしかる日日　須藤マツ子
教え子らそれぞれに成人の子を持てり成人証書謹みて書く　芳賀　常夫
新緑に映ゆる野地の湯ほのぼのと今宵の宴も人の和の中　森　芳子
携帯を持たぬが人にあらぬというこの世は何と姦しきかな　大平　太平
地変天変竹に守られ古都の今緑さやかに風生みており　鈴木イミ子
石屋さん門前にして観音像馬にも乗れと立て札のあり　吉田　世津
ほととぎす青葉揺らせば葉たばこに忙しき日が目に迫り来る　関根　瑞恵
寝たきりの母に介護の日々にして訪い来る声の麗しき鳥　水野　珠子
大岩の根方に咲いた座禅草　隠すがごとしつつじの花を　齋藤　平四
娘に贈らるパジャマを着たる父の日の夫は見せる満面の笑み　溝井　清乃
呆け防止の一つともいう歌作り今日は友として教室にゆく　鈴木　俊子
夏のように燃えろとも言う仕事して打ち込む時の己が心も　岡部　一
蜩の鳴く声しるしいつしかに忍び寄るかの秋の気配は　遠藤　秀

情報の泉 わくわく WAKU-WAKU

募　集

●奥の鮫川文芸クラブに参加してみませんか　奥の鮫川文芸クラブは、昭和19年、今は亡き先輩たちにより始められ、苦難の時代の星霜を経て続けられています。常に心に浮かんだ事、感じた事を文字にしてみませんか。素人の方も歓迎します。文化祭歌会にも参加できるよう気楽に参加してください。歌会(句会) 開催…毎月第１土曜日・午後１時／場所…早女川食堂／参加費…200円／運営…会長・関根一好、俳句会長・山本五十鈴、短歌会長・北條平、事務局、会計・斎須信子／詳細・問い合わせ…関根一好☎49-3575

●「17字のふれあい」作品募集　主催…福島県教育委員会／応募資格…大人と子どもがペアで応募／応募規定…子どもと大人が家庭生活や自然体験など共通の体験を通して感じたことを創作したもの／募集期間…９月30日（金）まで／応募用紙…村教育委員会にあります／応募先・問い合わせ…〒960-8688福島市杉妻町2-16福島県教育庁社会教育グループ☎024-521-7794

●「先生への手紙」作品募集　テーマ…「〇〇せんせいへ」「〇〇先生との思い出」など自由／応募資格…幼児から成人まで／応募期間…９月１日(木)まで／応募様式…おおむね400～800字程度。作品には、住所・氏名・連絡先・年齢・性別・学校名(職業名) を必ず明記／応募・問合せ先…〒960-8688福島市杉妻町2-16福島県教育庁社会教育グループ☎024-521-7794

若い人が村外に出て行かないような対策を

―仕事はどんなことをしていますか？

浅川町の有限会社丸川製作所でワイヤーオペレーターをしています。金属加工の会社です。

―仕事で心がけていることはありますか？

お客様に喜ばれるような製品を作るように心がけています。

―休日はどんな風に過ごしていますか？

家の手伝いや子どもたちと遊んだりしていますね。

―これからしてみたいことはなんですか？

村内に自分の家を建てたいですね。

―村について思うことは？

若い人が村外に出て行かないように何か対策をとってほしいと思います。

―村について望むことはありますか？

車の免許を持っていない人でも、服や食べ物などを気軽に買い物ができるような店があれば、村外に出なくてもいいのではないかと思います。それと、何度も危ないと思ったことがあるので、国道349号バイパスと県道の交差点（運送前）に信号をつけてほしいですね。

■次は井坂広徳さん（赤坂西野字見渡）の予定です。



鈴木（すずき）　勝則（かつのり）さん（25歳）

［赤坂東野字広畑在住］

誕生月　昭和55年１月
血液型　Ａ型
星　座　みずがめ座
趣　味　酒を飲むこと、読書
性　格　おちゃめ

学校だより

（第10回）

青生野小学校 編

深谷　和子 校長
生徒23 名

プール開き

六月二十八日、子どもたちが楽しみにしていたプール開きが行われました。

校長先生のお話やプールでの約束を聞いた後、準備運動をしっかりしてプールに入りました。少し肌寒い日でしたが、二十三人の子どもたちは、歓声をあげて初泳ぎを楽しんでいました。





プール開き

ふれあい給食

七月八日、授業参観の日にあわせて親子一緒に給食を食べました。それだけでも子どもたちにとってうれしいことだったのですが、その日はもうひとつ楽しみがありました。それは昨年度みんなで作った凍みもちを食べることです。保護者の皆さんに油で揚げたり、きなこ・砂糖じょうゆをつけたりして調理してもらい、全員でおいしくいただきました。

子どもたちもとてもおいしいとおかわりをしていました。

（文・写真／青生野小学校）





ふれあい給食

イベント情報 8月

フロイエンベルグ・アンサンブル
夏の夜のコンサート2005
主催／鮫川村



「フロイエンベルグ・アンサンブル」は、村交流施設「ほっとはうす・さめがわ」で毎年夏に合宿を行っているNHK交響楽団(N響)第一コンサート・マスター・山口裕之氏、元N響ヴィオラ首席奏者（現東京芸術大学助教授）・川崎和憲氏と両氏の門下生たち（東京芸術大学・桐朋学園大学などの学生、卒業して活躍中の演奏家）が鮫川村のために特別に編制した弦楽アンサンブルです。「鮫川村だけ」の室内楽の響きを、ぜひお楽しみください。

●とき　8月9日（火）
　午後6時開場／午後6時30分開演
●ところ　村公民館 大集会室
●入場料　無料
●問い合わせ　村企画調整課　☎0247-49-3115

人形劇こうえん
主催／福島大学児童文化研究会人形劇部
後援／鮫川村教育委員会

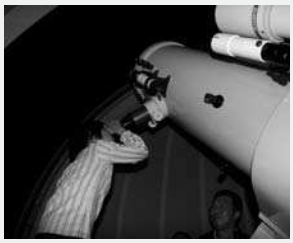
●とき　8月11日(木)　午前9時30分～11時
●ところ　鮫川村公民館大集会室
●内容　人形劇「仙人のおしえ」
　そのほか、たくさん遊びもするよ。
●入場料　無料
●問い合わせ　村公民館　☎0247-49-2247

奥の里山 ｉｎ 遠ケ竜
魚つり・つかみどり大会
主催／遠ケ竜若衆会



●とき　8月15日(月)
　午前10時～正午
●ところ　遠ケ竜ふれあい公園
　(赤坂東野字遠ケ竜地内)
●料金　大人1,500円、
　中学生以下500円
●問い合わせ
　遠ケ竜若衆会会長　森元良　☎0247-49-2161

鹿角平 宇宙のロマンとの出会い2005
ペルセウス座流星群を見よう！
主催／鮫川村・鮫川天文愛好会



野外でペルセウス座流星群や七夕の星を探そう（伝統的七夕＝今年は8月11日）。天文台では、月や織姫のエンゲージリング（リング星雲）を見てみよう。

●とき　8月12日(金)・13日(土)
　午後7時30分～
●ところ　鹿角平天文台（青生野地内）
●参加費　無料
●問い合わせ　村企画調整課　☎0247-49-3115

ニジマス釣り天狗好楽会
主催／鮫川村水産資源保護協会

●とき　8月15日(月)　午前7時～午後3時
●ところ　赤坂東野字広畑地内・鮫川本流
●料金　前売り券…一般3,000円、小学3年～中学生1,000円／当日券…前売り券の5割増し
●問い合わせ
　村水産資源保護協会事務局（村商工会内）
　☎0247-49-2171

第27回
鮫川花火大会
主催／鮫川村商工会青年部



●とき　8月15日（月）
　午後7時打ち上げ開始
　※荒天の場合は17日(水)に延期
●ところ　打ち上げ場所…国道349号鮫川バイパス・新宿トンネル付近／観覧場所…田中ニット(株)鮫川工場駐車場
●問い合わせ　村商工会　☎0247-49-2171

◆お知らせ1

年金

国民年金保険料の免除申請手続きはお早めに

平成17年度国民年金保険料の納付書は国（社会保険庁）から届いていますか？

国民年金保険料を失業や収入が少ないなどの理由で納めるのが困難な人のために「保険料免除制度」があります。保険料が未納になっていると、老齢基礎年金が少なくなるなど年金受給の際に「免除」と「未納」では大きな違いがありますので、保険料を未納のままにしないことが大切です。

免除には「全額免除」と「半額免除」があります。免除を受けた期間の将来の年金額は、通常納めた場合に比べ、全額免除では3分の1、半額免除では3分の2に減額されます。ただし、半額免除は残りの半額を納付しないと未納扱いになってしまいますので注意が必要です。

また、免除を受けた過去の期間の保険料は、10年前までさかのぼって納めることができます。

手続きに必要なもの

▼印鑑▼保険料の納付書など基礎年金番号のわかるもの▼今年1月以降に転入された方は所得がわかるもの（源泉徴収票か確定申告書の写し）▼失業を理由とするときは雇用保険受給者資格証の写しか雇用保険被保険者離職票の写し

全額・半額免除の基準

申請者本人と申請者の配偶者、世帯主の前年所得により審査されます。（下表のとおり）

30歳未満の方は「若年者納付猶予」の手続きを

昨年度まで保険料免除の申請をしても、世帯主の所得が高くて該当しなかった30歳未満の方は「若年者納付猶予」の申請手続きをしてください。保険料免除と違い、世帯主の所得審査を必要とせず、本人と配偶者それぞれの前年所得などを社会保険事務所で審査して承認を受けると、その期間の保険料が猶予されます。

●免除となる所得（収入）の目安

※夫か妻のいずれかのみに所得（収入）がある世帯の場合。数字は所得（収入）

世帯員数	全額免除	半額免除
4人（夫婦、子2人［子の1人は16歳以上23歳未満］）	162万円（258万円）	282万円（420万円）
2人（夫婦のみ）	92万円（157万円）	195万円（304万円）
単身	57万円（122万円）	141万円（227万円）

■問い合わせ　村住民福祉課住民係　☎49-3112

教育

「村民こぞって子どもの教育を考える会」開催

家庭や社会の教育力、将来を担う子どもたちの学力低下が叫ばれている中、住みよい教育力のある村を創るための学習会を開催します。

主催　村教育委員会、村青少年健全育成推進協議会、村PTA連絡協議会、村小中学校長会

対象　園児・児童・生徒の保護者、一般村民

内容　小中学校の子どもの現状と課題・成人向け話し合い学習

日程　左表のとおり

地区	日時	会場
赤坂中野	8月1日（月）午後7時～9時	村公民館
渡瀬	8月3日（水）午後7時～9時	渡瀬区集落センター
富田	8月5日（金）午後7時～9時	富田区集落センター
東石	8月8日（月）午後7時～9時	東石区集落センター

※赤坂西野、西山、青生野地区は7月下旬に実施しています。

■問い合わせ　村教育委員会教育課　☎49-3151

役場の電話番号

0247-49-3111（代表）

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課［住民係］	49-3112
［健康係・福祉係］	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課［建設係］	49-3116
［環境係］	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館（FAX兼）	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター（FAX兼）	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（鮫川保育園・鮫川幼稚園）	29-1010
	FAX 29-1012
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ（FAX兼）	48-2555

今月の納期

8月31日（水）

村県民税第2期
国民健康保険税第3期
介護保険料第3期

◆お知らせ２

個人事業税納期のお知らせ

個人事業税は、個人で事業を行っている方に課税される税金です。福島県県南地方振興局県税部から送付される納税通知書により、最寄りの金融機関で８月31日(水)までに納めてください。なお、金融機関の預金口座から振替納税する方法もあります。希望される方は、納税通知書に同封してある口座振替依頼書に必要事項を記入し金融機関に申し込んでください。(今回申し込まれた方は、第２期分からの振替となります。)

■**問い合わせ**　福島県県南地方振興局県税部☎0248-23-1517

「2005夏のふくしまUターン・学生等就職フェア」開催

日時　８月17日(水)　午後０時30分～午後４時

場所　ビックパレットふくしま展示ホールC（郡山市）

参加対象者　Uターン希望者・来春卒業予定の学生など（高校生は除く)、県内に採用予定のある事業所

■**問い合わせ**　福島労働局職業安定課☎024-528-0366

家出人･行方不明者相談所開設

～あきらめずもう一度捜してみませんか～

８月１日から31日までの1カ月間、県内各警察署に「家出人・行方不明者を捜す相談所」を開設します。棚倉警察署では、刑事生活安全課で相談に応じていますのでご利用ください。

■**問い合わせ** 棚倉警察署☎33-3241

精神障害者家族教室開催

精神の障害者を持つ方の家族を対象に勉強会を行います。一緒に悩み、考えることによって、こころの荷をおろしませんか。

日時　８月24日(水)　午後１時30分～午後３時30分

場所　生活支援センターこころん（泉崎村）

内容　講話「当事者の立場から～家族と本人の相互支援からみえてくるもの～」／講師・広田和子氏

申し込み期限　８月22日(月)

■**問い合わせ**　福島県南保健福祉事務所障がい者支援チーム☎0248-22-5649

米穀取扱事業者は「登録制」から「届出制」へ

これまで米穀を販売、集荷する方は県、農政事務所に登録していましたが、平成16年４月に施行された改正食糧法では届出制となり、農政事務所に届出が必要となりました。

米穀取扱事業者とは、１年間(４月～３月)において、20精米ﾄﾝ以上(くず米なども含む)の米穀の出荷または販売事業を行う方です。

■**詳細・問い合わせ**　福島農政事務所地域第４課☎0248-22-1241

鮫川村街頭犯罪発生状況

棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	1
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	1
無施錠	0	0
ガラス破り	0	1
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	1	1
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	1	3

発生件数：６月25日～７月25日
累計：１月１日～７月25日

●夏の行楽シーズンは心も緩んできます。日ごろから油断しないように心に鍵をかけ、防犯意識を高く持ちましょう。

◆いきいき健康通信　文／村住民福祉課健康係　中川西ミユキ栄養士

『夏バテ』を解消し元気な夏を過ごしましょう

暑い日が続いています。体も疲れやすく、食欲も減退する時期になりました。〝夏〟を元気にのりきるために自分の生活をもう一度振り返ってみましょう。

■**『夏バテ』が起きる原因や症状**

①高温多湿のため不快に感じる→体が疲れる。寝苦しくて睡眠不足になる。

②体温調節のため、発汗量が多くなる。→エネルギーを消耗し、体が疲れる。

③胃酸の分泌が低下する。→胃酸の消化力が低下し、食欲不振になる。

④冷房のあたりすぎ→体温調節を行う自律神経が機能低下する。

■**『夏バテ』を吹き飛ばす『元気の源』**

『夏バテ』が起きる原因が分かったら、今度はならないための『元気の源』を知りましょう。これらは、1つでも欠けてしまうと元気が出なくなってしまいます。

食事　体を動かすのに絶対に欠かせないもの。特に1日の始まりの朝食は必ず食べましょう。

運動　1日1回は外で体を動かしましょう。適度な疲れは食欲を起こし、熟睡にもつながります。

休息　仕事や運動の途中や後には、必ず体を休めましょう。疲れがたまりすぎると、食欲がなくなります。

睡眠　起きる時間、寝る時間が毎日違うと、体の中のリズムも狂って、体調を崩してしまいます。

■**『夏』こそ見直したい食生活**

①1日3食しっかり食べよう

夏はたくさんの汗と一緒に体の中のビタミンB1、B2、Cが流れ出てしまって体内の消費量が高まり、不足しやすくなります。ビタミンB1、B2を多く含む豚肉やうなぎ、枝豆などのたんぱく質やビタミンCを多く含む色の濃い野菜(トマト、かぼちゃ、ピーマン、しそなどの夏の野菜)をバランスよく摂りましょう。

②のどが渇いたら、水や麦茶、牛乳を飲みましょう。

暑い日が続くと、炭酸飲料や清涼飲料水(ジュース)などの甘い飲み物を口にしがちですが、これらは一缶に20～30ｇ(スティックシュガー約10本分)の砂糖が含まれています。これを夏の間飲み続けるとジュースに含まれているぶどう糖によってカルシウム不足になり、歯や骨が弱くなりむし歯が出来やすくなったり、ビタミンB1が不足して体が疲れたりします。暑くて汗をかいた時の水分補給には、水や麦茶、牛乳が適していますが、これらも飲みすぎると胃液が薄まり消化しにくくなりますので、飲みすぎには気をつけましょう。

■**『夏バテ』解消のおすすめメニュー**

栄養のあるものをバランスよく食べて暑い夏をのりきりましょう。

▼**鶏ささみとかぼちゃのごま和え**

＝材料＝（2人分）

鶏ささみ…2本　かぼちゃ…1／8個
パセリ…適量　練りごま…小さじ1
ポン酢…大さじ1　塩、酒…適量

＝作り方＝

①鶏ささみは観音開きにして塩、酒を軽くふる。かぼちゃは厚さ5ミリに食べやすく切り、魚焼きグリルに並べて、薄く焼き色がつくまで焼く。

②鶏ささ身を細く裂き、かぼちゃと合わせて調味料で和える。最後にザク切りにしたパセリを散らす。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150



赤ちゃんが喜ぶ読み聞かせ0・1・2歳（徳永満里著・フォーラムA）
絵本との出会い＝ブックスタートは生後７カ月頃からがよいと筆者は語っています。では、赤ちゃんが一番喜ぶ絵本とは…。
赤ちゃんの成長に合わせて本を紹介している１冊です。「子どもが楽しむ読み聞かせ3・4・5歳」もありますのでどうぞ!!



夏のなぜなにブック
（久米公、世界文化社）すいかにはたねがいくつあるの？朝顔はどうして朝しか咲かないの？子どもたちの「なぜ」「どうして」「知りたい！」という好奇心に写真やイラストで分かりやすく答える夏の不思議ガイドブックです。

火	水	木	金	土
2 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●ポリオ生ワクチン投与…13:30～[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	**3** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	**4** ●リハビリ教室…10:00～15:00[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	**5** ●健康大学…18:00～20:30[保] ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	**6** ●第19回村民ふれあいグランドゴルフ大会…14:00～青少年広場
9 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公] ●フロイエンベルグ・アンサンブル「夏の夜のコンサート」…18:00～[公]	**10** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]	**11** ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公] ●福島大学人形劇こうえん…9:30～11:00[公]	**12** ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公] ●ペルセウス座流星群を見よう！…19:30～／鹿角平天文台	**13** ●ペルセウス座流星群を見よう！…19:30～／鹿角平天文台
16	**17** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**18** ●子宮がん検診・骨粗しょう症検診… ①8:30～9:00 ②13:00～13:30[保]	**19** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●農業委員会総会	**20** ●チャレンジスクール第４講座
23 ●社会復帰支援事業(やまぶきの会)…10:00～15:00[保]	**24** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**25** ●10カ月児健診…10:00～[保] ●各小中学校、幼稚園第２学期始業式	**26** ●健康大学…18:00～20:00[保] ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**27**
30	**31** ●住民健診…7:30～[ほ]体験館(青生野地区) ●村税等納期限 ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**9/1** ●住民健診…7:30～／渡瀬区集落センター	**2** ●住民健診・口腔健診…7:30～[保](富田地区) ●健康大学…19:00～20:00[保]	**3**
6 ●住民健診…7:30～[保]	**7** ●住民健診・口腔健診…7:30～[保] ●おはなしの森…16:00～16:30[図]	**8** ●住民健診…7:30～／西山区集落センター	**9** ●住民健診…7:30～／赤坂西野区民センター	**10**

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（6月届け出分・敬称略）



熊田（くまだ）　隼斗（はやと）・男
平17.6.5生
住所…虹ヶ沢
保護者…孝男・博子

●おくやみ申し上げます

（6月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
東前田	市村　サエ	6.12	90歳
大平	関根　キン	6.21	93歳
石ノ花	舟木　忠男	6.23	76歳
福原	芳賀　利弘	6.26	53歳

●人の動き　7/1現在・（　）は前月比

人口	4,534人	（－5）
男	2,255人	（－2）
女	2,279人	（－3）
世帯	1,121戸	（＋1）

●寄付・寄贈　（6・7月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]…市村春二（東前田）関根清（大平）舟木郁子（仙台市）芳賀真一（福原）山本幸治（神奈川県）
■さぎり荘に［物品］…藤田芳美（岡田）
■奨学資金として（故人の遺志による）［金員］…山本ヤス（道少田）

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■この編集後記を書いていた頃、ようやく夏らしい天気になりました。夏休みに入ってからもずっと雨が続いていたので、子どもたちにとってはこれからが夏休み"本番"でしょう。暑い日が続くと思いますが、水の事故や熱中症はもちろんのこと、防犯ブザーの使うことのないように気をつけてほしいですね。（緑川）

●TOPICS



いきいき大学で健康づくり

村内で各地区ごとに実施されている健康づくり事業「ふれあい広場」の西山地区「第1回いきいき大学」は6月22日、西山区集落センターで開かれ、同地区のお年寄り約30名が参加。エアロビクスインストラクターの青柳夏実さんが講話と実技指導を行い、参加者は楽しみながら身体を動かしていました。（写真提供：水野茂男さん／宝木）

8 生活情報カレンダー
月1日～9月10日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
	8/1 ●図書館休館日 ●村税等納期限 ●絵画教室…10:00～11:30[公] ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]
7 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 中島病院（石川町）☎26-3415	8 ●4カ月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～/塙厚生病院 ●図書休館日 ●自主学習の部屋…10:00～12:00、13:00～15:00[公]
14 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 木村医院（矢祭町）☎46-3528 富永医院（浅川町）☎36-2027	15 ●図書館休館日 ●第27回鮫川花火大会…19:00～21:00 ●ニジマス釣り天狗好楽会…7:00～15:00 ●魚つり・つかみどり大会…10:00～／遠ケ竜ふれあい公園
21 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 塙厚生病院（塙町）☎43-1145 中島病院（石川町）☎26-3415	22 ●図書館休館日
28 ㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 車田病院（塙町）☎43-1019 おりの整形外科クリニック（石川町）☎26-5050	29 ●図書館休館日
4 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 中島医院（塙町）☎43-0373 中島病院（石川町）☎26-3415 ●第16回村民ゴルフ大会	5 ●図書館休館日 ●住民健診・口腔健診…7:30～[保]

㊡＝休日当番医

鮫川の昔話

第八話

手討ちと半殺し

（文・切り絵　中井恒峯）

むかしむかしの話です。村のどこの家にも「富山の薬」というのが置いてありました。それで年に一度か二度、富山から薬売りがやって来て、薬の補充と集金に家々を回って歩いていました。

その富山の薬売りが渡瀬を巡っていたときのことです。大きな薬箱を荷台につけて坂道を上っていたら、急に雨が降ってきて雨宿りしているうちに日が暮れ、夜になってしまいました。

「これは大変、いつも泊まる宿屋まで行けないな。」と、困り果て歩いていると、一軒の農家の灯りが見えてきました。この農家を訪ねると、人の良さそうなおじいさんとおばあさんが出てきました。薬売りの太郎は、「一晩泊めてください。」と頼むと、「はい。泊めてあげますよ。」と色よい返事が返ってきました。太郎はその夜泊めてもらうことにしました。薬売りの太郎は、農家の奥の部屋に案内されて、ほっと一息つき休んでいました。

すると、となりの部屋から話し声が聞こえてきました。

「じいさん、じいさん。久しぶりのお客様だ。今夜はどうしましょう。」

「そうだな、今夜は久しぶりのお客様だで、手討ちにするか、半殺しにするか。」

「いや、半殺しにしよう。」

と、何やら相談しているようです。それを聞いた薬売りの太郎はびっくりしました。

「これまた大変だ。殺されるかもしれない。こうしてはいられない。とんでもないところに泊まってしまった。」そう思いながら青くなり、ぶるぶる震えていましたが、「そのときは、そのときだ。」と覚悟を決め、部屋で休んでいました。

すると、部屋の戸がガラッと開いて、「夕食の準備ができました。こちらに来てください。」と、おばあさんがにやっと笑いながら顔を出し、太郎を呼びにきました。太郎は恐る恐るおばあさんの後をついていきました。

囲炉裏につくと、とてもいい匂いがしました。そこには「ぼたもち」と「そば」が用意してありました。太郎はおじいさんとおばあさんに言われるとおりにして、夕食をごちそうになりました。

次の日、何事もなくおじいさんとおばあさんの家を出た太郎は、となりの集落に行って夕べの出来事を村人に尋ねてみました。

村人の話によると、「手討ち」は「手打ちそば」や「手打ちうどん」のことで、農家で来客をもてなすために打ったものです。また、「半殺し」は、「ぼたもち（春は牡丹もち）」や「おはぎもち（秋は萩もち）」のことで、ご飯を半分つぶすので、そのように言ったそうです。太郎が勘違いしたおじいさんとおばあさんの話は、ぼたもち（牡丹もち）をごちそうするか、そばかうどんの手打ちをごちそうするか相談していたということだったのです。

（福島史談会長・広畑出身）

※この話は、筆者が村を訪ねた際に民話などを採話し作られたものです。



広報 さめがわ　No.616［平成17年8月1日発行］
発行・編集／福島県鮫川村役場総務課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5　■TEL 0247-49-3111（代表）
■FAX 0247-49-2651　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■E-メール soumu@vill.samegawa.fukushima.jp